

# 将来の船員として活躍を期待！

## ～中高生を対象に就業体験・体験学習を実施～

### Point



沖繩海事産業人材確保・育成推進協議会（事務局・沖縄総合事務局運輸部）は、若年内航船員の人材確保・育成のため、高校生・中学生を対象にバリエーション豊かな取組を行っています。

四面を海に囲まれた我が国において、船舶による海上輸送は、国民生活や経済活動、観光振興等に欠かせないものとなっている中、今後の安定的な海上輸送を確保するにあたっては、海上輸送を担う船員の安定した確保・育成が必要不可欠です。

全国的な内航船員の年齢構成を見ると、50歳以上の割合が2024年で43・6%と全体の4割程度と高い状況を占める状況にあります。若年内航船員確保のための取組が進められ、近年は若年層が徐々に増加しております。

海上輸送を維持・発展させていくためには、若年内航船員のみならず海上輸送を担う優秀な人材を継続的に確保していくことが重要です。

沖縄県においても全国と同様の傾向があるため、沖縄海事産業人材確保・育成推進協議会では、内航船員の仕事に興味を持つきっかけを作り、将来、職業として内航船員を選択してもらうため、各種取組を行っています。

高校生に対する取組としては、令和7年7月から9月にかけて宮古総合実業高等学校の生徒を対象に、県内の船舶運航事業者の協力を得て、内航船（RORO貨物船、旅客フェリー）にて「就業体験」を実施しました。

参加した生徒からは、「内航海運の仕事に魅力を感じた」「卒業後の進路先として内航船員に興味関心が持てた」などの感想がありました。

中学生に対する取組としては、令和7年8月13日に沖縄本島、11月10日には宮古島、令和8年1月21日には西表島にて、沖縄水産高等学校、宮古総合実業高等学校、八重山観光フェリー（株）などの協力を得て、中学生のほか、保護者や教員も対象に、船員の仕事や資格についての説明、実習船や旅客船の見学などの「体験学習」を実施しました。

参加した生徒からは「この体験学習で船員の仕事に興味を持った」「船員さんになるための資格や学校があることを知った」という声もありました。

運輸部では今後とも、若年内航船員の人材確保・育成に向けた取組を積極的に推進していきます。

お問合せ先

運輸部 船舶船員課

☎098-866-1838



体験学習の様子（船橋見学）



体験学習の様子（ロープワーク）



体験学習の様子（集合写真）



就業体験の様子（機関制御室）